令和7年度　飯塚市事務事業評価シート

令和　8　年　6　月　4　日　作成

事務事業名	福岡県たばこ販売協同組合補助金事業事務	事務事業No.	232 - 1

1．基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
行政経営部	税務課	市民税係	主任	木原　亮	課長	梶原　あゆみ

施策体系				
総合計画	政　策	2	行政経営
	施　策	3	財政の健全化
	基本事業	2	市税等自主財源の適切な確保
その他の計画	個別計画		－

根拠法令・条例・要綱等	飯塚市補助金等交付規則、福岡県たばこ販売協同組合飯塚支部事業補助金交付要綱				
事業開始年度	不明	事業終了年度	継続	事務事業類型	義務的事業（市に裁量の余地があるもの）
実施手法	全部直営	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	－

2．事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要		環境美化運動並びに喫煙者のマナーアップ運動を推進するとともに、住民の健康及び環境保全に対する意識の高揚と活動の展開を図ることを目的に、福岡県たばこ販売協同組合飯塚支部に対し補助金を交付する。
対象	働きかける相手・もの	福岡県たばこ販売協同組合　飯塚支部
手段	方法・働きかけ（活動指標）	補助金の交付
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	環境美化運動並びに喫煙者のマナーアップ運動を推進するとともに、住民の健康及び環境保全に対する意識の高揚と展開を図る。

3．活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
補助金額	千円	30年度より定額：300	300	300	300

4．成果指標（決算成果説明書と連動）

					前年度実績	本年度実績	次年度見込
指標	事業活動回数	単位	達成目標値				
		回	9	目標値	12	12	12
説明	販売促進、美化活動（マナー向上）などの実施回数	方向性	達成目標年度	実　績	12	15	
		減少	－				
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			

5．事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	経常経費	特別会計	－

予算科目・事業	会計	1	一般	款	2	総務費	項	2	徴税費	目	1	税務総務費
	大	2	その他の税務総務費	中	1	各種協議会費	他	－	事業			

	(R2以降)	前年度実績（千円）			本年度実績（千円）			増減理由（10%以上の場合）	次年度予算（千円）		
投入人員（当該事務事業に対して１年間に投入した人員）	正職員	0.18	人	1,466	0.18	人	1,529		0.18	人	1,529
	任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 2級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
人件費計（A）				1,466			1,529	－			1,529
事業費	直接事業費（B）			300			300				300
	総事業費（A＋B）			1,766			1,829				1,829
直接事業費のうちの主な歳出内訳	補助金			300			300				300
	－			0			0				0
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）			0			0				0
	国・県支出金			0			0				0
	市債			0			0				0
	一般財源			1,766			1,829				1,829
	その他（　　）										

6．事務事業の事後評価★

評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価	高い	市の歳入の安定と市民の生活環境、健康の増進に資する事業として妥当である。また、環境美化運動並びに喫煙者のマナーアップ運動を推進するとともに、住民の健康及び環境保全に対する意識の高揚と活動の展開を図る事業として継続するべきである。
効率性評価	高い	当該補助金に関しては、実績報告・事業報告等を受けており、その報告により負担割合は適切である。しかし、補助金の必要性を鑑みながら縮小の方向で検討する余地はある。
有効性評価	高い	市たばこ税は比較的安定度の高い税収となっている。また、販売促進・喫煙環境の整備活動の担い手として、たばこ組合への補助は有効であるが、今後縮小の可能性は検討すべきである。

7．前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	補助率の段階的引き下げ及び平成３０年度より定額制（一律３０万円）
一次評価	現状維持		
	コストの方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	なし
	現状維持		

前年度改善策に対する実績　★　　※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入

平成３０年度より定額制（一律３０万円）

8．今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★

【成果】　売上に左右される補助率の適用ではなく定額の補助金交付の実施。

【課題】　補助金定額の今後の継続実施、及び販売促進等の活動の維持。

9.今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	【理由】
現状維持	現状の事業内容から、定額での補助金交付は適切であるため。
コスト投入の方向性	【理由】
現状維持	現状の事業内容から、定額での補助金交付は適切であり、コスト削減の余地は現状必要ではないと考えられるため。

次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	補助率の段階的引き下げ及び平成３０年度より定額制（一律３０万円）
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	なし

2次評価（最終評価）	**成果の方向性**	本補助金は、組合が自主財源により本来自主的に実施すべき美化・啓発活動を対象としており、市が補助する必要性が乏しい。また、たばこ税収に連動した定額補助であり、個々の公益的事業に要する経費の積み上げによる算定となっていないことから、成果の方向性は「廃止」とする。実施にあたっては、市の方針に基づき組合と協議するとともに、共同補助を行う嘉麻市・桂川町と調整する必要があるため、丁寧な説明を行いながら廃止に向けて進めることとする。
	廃止	
	コスト投入の方向性	成果の方向性を「廃止」とするため、コスト投入の方向性は「縮小」とする。
	縮小	